

受験勉強の仕上げは、一度解いた問題を教科書と同じ丁寧さで復習して理解・定着に励み、すべて身に着けること

開倫塾  
塾長 林明夫

**Q 1 : 毎日の受験勉強の仕上げは、どのようにしたらよいのですか。**

A : その日に解いた問題をすべて、学校の教科書と同じように考え、もう一度、丁寧に、丁寧に「復習」することです。理解、定着に励み、すべて身に着けることをおすすめします。

**Q 2 : 英語は、どのように行えばよいのですか。**

A : (1) まずは、その日に解いた問題をもう一度声を出してゆっくり読むこと、「音読」することです。  
(2) 問題の本文と設問、選択肢、正解、解説などを、スラスラとよく読めるようになるまで「音読練習」することです。大切なことはその場で覚えてしまう、何も見ないでいえるようにする「暗誦」も超おすすめです。  
(3) 問題文を読んでいて、意味のわからないことばがあったら印をつけ、辞書で調べる。辞書で調べたことは、すべて、意味調べノートやカードに書き写す。それを繰り返し読み直し、すべて覚えることです。  
(4) よく書けなそうな語句があれば、正確に書けるようになるまで「書き取り練習」を行うことです。  
(5) これを着実に行うことで、英語の「語彙数」が一気に増えます。ことばは力、語彙数は力です。これだけで英語の偏差値が 10 以上短期間で上がります。

**Q 3 : 一度解いた数学の問題は、どうしたらよいのですか。**

A : (1) 数学の教科書を復習するのと全く同じように、一度解いた数学の問題を「復習」することです。  
(2) もう一度、ノートに問題を解き直すことです。  
(3) もう一度解いて、解き方がよくわからない問題は、すぐに答えを見ないでよく考えることです。  
(4) どうしてもわからない問題は、解答解説や授業のノートをじっくり読み直す。先生の授業をお聞きするようつもりで、解答解説や授業ノートを読み直す。なぜそのような解答になったのかを理解することです。  
(5) そのうえで、よくできなかつた問題をノートにもう一度解き直すことです。

**Q 4 : 国語や社会、理科はどうしたらよいのですか。**

A : (1) 学校の教科書を復習するようつもりで、一度解いた問題を「復習」することです。  
(2) 問題文と解答解説を「音読」することです。  
(3) 意味のよくわからない語句は、辞書や、参考書、用語集で調べる。調べたことはノートに書き写し、繰り返し読み直して覚える。定着させることです。  
(4) 大切な語句は「書き取り練習」をすることです。  
(5) 社会は、地図帳、年表、条文集などで、地名や年、法律の条文などを確認すること、学校の教科書の復習と全く同じです。

**Q 5 : 最後にひとことどうぞ。**

A : (1) 受験勉強で大切なのは、一度解いた問題を、学校の教科書を復習するのと同じ丁寧さで「復習」することです。  
(2) 問題文、設問、選択肢、解答解説のすべてを理解し、定着させることです。  
(3) 辞書を活用し、わからないことばをゼロにすることです。  
(4) 音読練習、書き取り練習、計算・問題練習を行うことです。  
(5) 「練習は不可能を可能にする」「定着のための 3 大練習」は「偏差値 10 以上アップを可能」にします。「定着のための 3 大練習」は「不可能を可能」にします。